

新宮市立城南中学校で21日、体育科の授業で取り組む創作ダンスの集大成を披露する「ダンス発表会」が開かれた。全校生徒181人が出演。保護者らが見守る中、生徒らは日々積み重ねてきた練習の成果を存分に表現し、努力の結晶を披露した。

同取り組みは、学習指導要領の改訂により体育科授業の一環としてダンス・武道が必修化された2012年から実施。チームでの取り組みを行うことで集団行動の感覚を養い、仲間同士の結束を深めることを目指している。

オープニングは、2015年に開かれた和歌山国体のテーマソング「明日へと」に合わせ一糸乱れぬ演技を披露する「全校ダンス」。躍動感あふれるリズムとともに18人が一斉にダンスを行

う光景に驚きの表情を見せる観客のほか、写真に収める観客など大いに盛り上がりを見せた。

## 城南中でダンス発表会



## 迫力ある全校演技も披露



続いて、各チームが創作ダンスを披露。1年生は課題曲「自分だけのStory」、2年生以上は各チームで選曲から振り付けまでを行い、それがチームメンバーの個性を生かしたソロパートなどの振り付けを披露。また、「妖怪体操」「当たり前体操」のような体操系のネタを仕込むなど趣向を凝らした演出で観客の笑いを誘った。

中田善夫校長は「皆さんのダンスは見ている人

を幸せにする素晴らしいものだった。また、練習後のダンス自己評価など、地道な積み重ねと毎日の努力により素晴らしいダンス発表会になった」と評価。

保体委員・大槻虎生部長は、各学年の立場に立った感想を述べ、「今回のダンス発表会がこの会場にいる皆さん的心に残る作品であればいいなと思います」と締めくくった。

(吉永豊大)

# ダンスを通して多彩な表現

# ダンスを通して多彩な表現